

1. 日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞授賞式の御報告

病理学の健全な発展のためには、臨床側面である病理診断だけでなく、その基盤となる病理学研究も診断の修練と同様に大いに推進する必要があります。しかるに昨今の若手医師における研究指向者の激減は憂慮すべき問題です。この問題を少しでも解決するために、日本病理学会創立 100 周年記念事業の一環として、日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞が、医師・歯科医師で 33 歳以下の病理学関連講座大学院博士課程在籍者 (MD/PhD コースの大学院博士課程在籍者も含む) を対象として平成 23 年度から設けられました。

令和 6 年度は 4 名の応募者があり、全員が 1 次審査を通過し 2 次審査に臨みました。第 114 回日本病理学会総会第 2 日目午後に 2 次審査を実施し、以下の 3 名のみなさんの受賞が決定しました。ますますの研究の発展を祈念します。今年残念ながら落選されたみなさんも、また新たな仕事の進展があった大学院生のみなさんも、来年札幌で是非挑戦していただきますようお願いいたします。

令和 6 年度受賞者

(写真左は小田義直理事長、右は鈴木貴副会長)

浦野 友哉 (名古屋大学)

「間葉系間質細胞における superoxide dismutase 2 欠損は褐色脂肪組織の機能低下を誘導する」

貝森 峻 (大分大学)

「日本における肥満心筋症の疫学的、形態学的検討～病理と法医の立ち位置からの肉眼的・組織学的な検討～」

真柄 和史 (札幌医科大学)

「タイト結合関連タンパク質 JAM-A の異常高発現が関与する癌進展機構の解明」

病理医・研究医の育成とリクルート委員会
 委員長 宮崎 龍彦



2. 第 115 回日本病理学会総会 (札幌) HP 公開

会期: 2026 年 4 月 16 日 (木) ~ 18 日 (土)

会場: グランドメルキュール札幌大通公園・
 札幌市教育文化会館

会長: 田中 伸哉 (北海道大学)

<https://www.congre.co.jp/115jsp/>

3. 「診断病理」編集長の公募について

「診断病理」現編集長の任期満了にともない、令和8年度以降の編集長を下記の要領により募集いたします。応募、または推薦の書面を病理学会事務局までお送り下さい。

応募要領：

1. 応募は自薦、他薦を問わないこと。
2. 応募者は、病理専門医である日本病理学会会員であること。
3. 応募者が自薦の場合は、氏名、所属機関、応募の要旨、自筆署名を、また他薦の場合は、推薦する候補者名を記載した書面（書式は自由）をPDF電子媒体としてメールに添付するかたちで提出すること。
4. 任期は、令和8年4月1日より5年とすること。再任以降の任期は2年とすること。
5. 締め切りは、令和7年9月30日とすること。

提出先：一般社団法人日本病理学会
「診断病理」編集長公募受付係
E-mail：jsp.office@pathology.or.jp

4. Pathology International 編集長（editor）の募集について

英文誌“Pathology International”編集長の任期が年度末に満了となることにともない、令和8年度以降の編集長を下記の要領により募集いたします。応募、または推薦の書面を病理学会事務局までお送り下さい。

応募要領：

1. 応募は自薦、他薦を問わないこと。
2. 応募者は、学術評議員である日本病理学会会員であること。
3. 応募者が自薦の場合は、氏名、所属機関、応募の要旨、自筆署名を、また他薦の場合は、推薦する候補者名を記載した書面（書式は自由）をPDF電子媒体としてメールに添付するかたちで提出すること。
4. 任期は、令和8年4月1日より4年とすること。再任可であるが2期目以降は任期2年とすること。
5. 締め切りは、令和7年9月30日とすること。

提出先：一般社団法人日本病理学会
Pathology International 編集長公募受付係
E-mail：jsp.office@pathology.or.jp

5. 第19回診断病理サマーフェスト —病理と臨床の対話—のご案内

2025年度の診断病理サマーフェストは下記の要領でハイブリッド開催（現地・オンデマンド配信）いたします。現地会場参加は、先着順とさせていただきます。Web開催は講演の模様を収録し、オンデマンド配信いたします。

テーマ：乳腺

会 期：

現地開催 2025年9月6日（土）・9月7日（日）
※オンデマンド配信の視聴可

Web開催 2025年9月16日（火）～10月10日（金）正午
※オンデマンド配信

会 場：EBiS303 5F カンファレンススペース ABC
（東京・恵比寿）
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-20-8
エビススバルビル 5F
電話：0120-303-557（代）

対 象：乳腺に興味のある病理医、臨床医、放射線科医、
臨床検査技師、放射線技師

形 式：講義、質疑応答 / Web 視聴

内 容：

9月6日（土）

乳腺画像診断

乳腺針生検の病理診断 Overview

病理診断① 上皮・筋上皮性腫瘍

病理診断② 非浸潤性小葉腫瘍

病理診断③ 乳管内増殖性病変

病理診断④ 乳頭状病変

病理診断⑤ 線維上皮性腫瘍

病理診断⑥ 間葉系腫瘍・そのほか

第19版乳癌取り扱い規約の改訂点

浸潤性乳癌の病理診断 Overview

病理診断⑦ 浸潤性乳癌 特殊型

9月7日（日）

バイオマーカー診断① ホルモン受容体、HER2

バイオマーカー診断② PD-L1, Ki67

浸潤性乳癌の治療

遺伝性乳癌の臨床病理

遺伝子診断と病理診断

浸潤性乳癌の分子病理診断

定 員：現地開催 先着 110 名

Web 開催（オンデマンド配信）制限なし

※冊子印刷の関係で、8月8日（金）までの登録をお勧めいたします。それ以降はハンドアウトの予定数に達し次第、受付終了とさせていただきます。

単 位：・病理領域講習（専門医更新）4単位

・病理専門医受験資格「病理診断に関する講習会」に該当

※現地・Webともにすべての参加・視聴が必要

参加費：20,000 円

（初期・後期研修医、大学院生、臨床検査技師 15,000 円）

※会員・非会員ともに課税（税込 10%）

一般社団法人日本病理学会インボイス番号：
T1010005004655

世話人：堀井理絵

(横浜市立大学附属市民総合医療センター病理
診断科)

運営事務局：株式会社学会サービス 内

〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-3-101

TEL：03-3496-6950 FAX：03-3496-2150

E-mail：dpsf19@gakkai.co.jp

参加受付期間：2025年6月4日(水) 正午～

9月30日(火) 正午

参加登録方法、プログラム等詳細は以下 HP よりご確認ください。

<https://www.pathology.or.jp/news/members/seminar/summerfest-25.html>

6. 【参加者募集】 ウィーン大学／ LKH GrazII 病院訪問

2025年9月6日～10日にオーストリア・ウィーンで開催されるヨーロッパ病理学会にあわせ、下記の通り9月5日にウィーン大学病理、9月11日にLKH Graz II 病院 病理を訪問する企画をたてました。海外の病理診断部門で、日常の病理診断がどのように行われているのか、検体処理からスライド作成、病理診断、遺伝子検査の取り組み、若手病理医の教育システムなどを実際に現地で見学します。

参加ご希望の方は、日本病理学会事務局まで下記の内容を添えてご連絡ください。

なお、見学にかかる実費は全て自己負担となりますので

ご了承ください。

1) ウィーン大学病理学教室 (ウィーン市内)

日時：2025年9月5日(金曜日)

場所：現地もしくは近辺集合・解散予定。

詳細は後日お知らせします。

2) LKH Graz II 病院 病理診断部 (グラーツ)

*主に若手病理医を対象

日時：2025年9月11日(木曜日)

場所：ウィーンから日帰りで電車にてグラーツへ移動後、見学。グラーツに滞在することも可能です。

申し込み方法 e-mail にて下記情報をお送り下さい。

締切：2025年7月末日

宛先：日本病理学会事務局 jsp.office@pathology.or.jp

メール表題：

ウィーン大学グラーツ II 病院訪問ツアー参加希望

本文記載事項：

1) 会員番号

2) 氏名 (日本語・英語)

3) 所属 (日本語・英語)

4) email アドレス

5) 見学希望先：両施設とも／ウィーン大学のみ／
グラーツ II 病院のみ

6) 志望動機